

内航船舶輸送統計速報 (令和 2 年 12 月分)

1. 概況

総輸送量は、28,015 千トン（対前年同月比 6.1%減）、13,745 百万トンキロ（対前年同月比 6.9%減）であり、大型鋼船は 17,783 千トン（対前年同月比 5.2%減）、10,127 百万トンキロ（対前年同月比 4.3%減）、小型鋼船は 8,517 千トン（対前年同月比 6.1%減）、3,334 百万トンキロ（対前年同月比 13.6%減）であった。

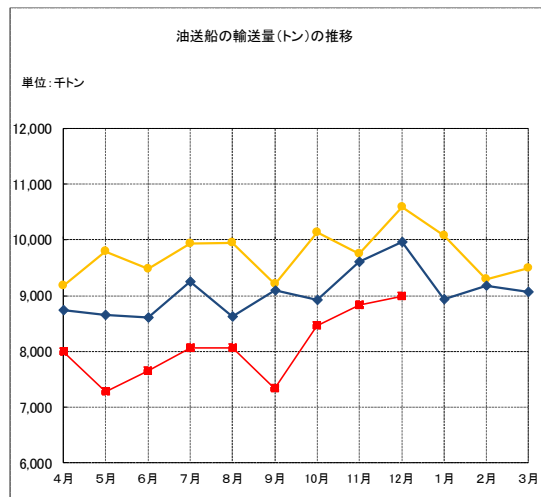
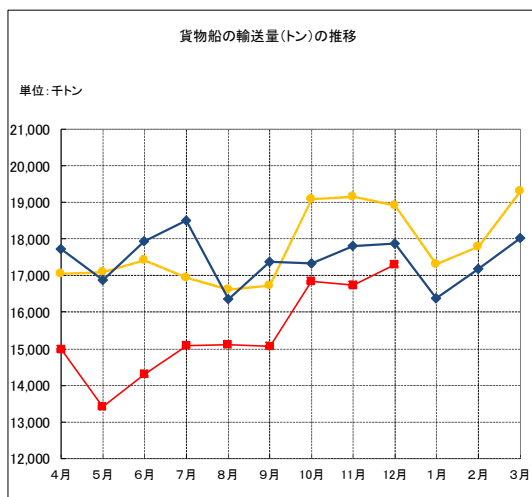
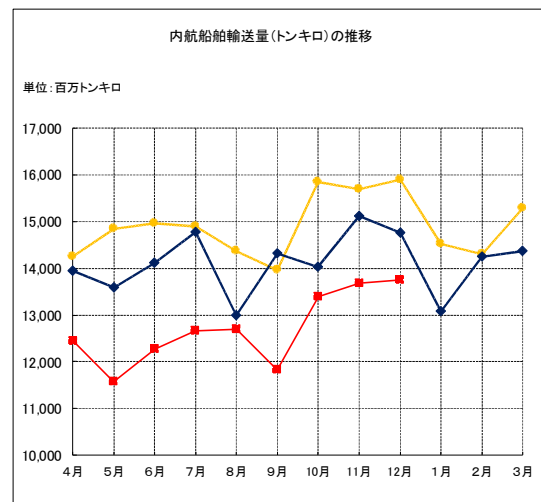
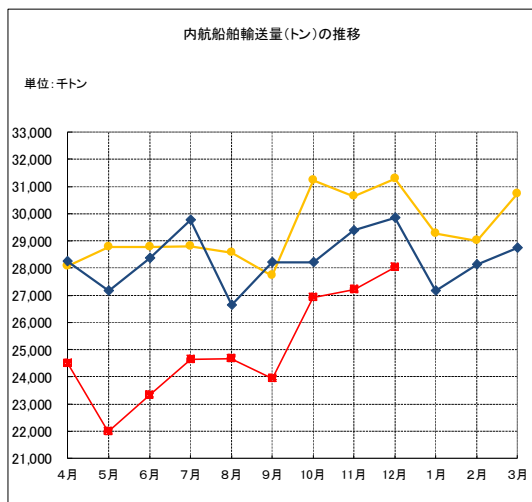
貨物船は 17,309 千トン（対前年同月比 3.1%減）、8,673 百万トンキロ（対前年同月比 4.7%減）であった。

油送船は 8,991 千トン（対前年同月比 9.8%減）、4,788 百万トンキロ（対前年同月比 10.4%減）であった。

プッシュャーバージ・台船は 1,716 千トン（対前年同月比 14.2%減）、283 百万トンキロ（対前年同月比 9.0%減）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	28,015	93.9	13,744,770	93.1
大型鋼船	17,783	94.8	10,126,954	95.7
小型鋼船	8,517	93.9	3,334,386	86.4
プッシュャーバージ・台船	1,716	85.8	283,429	91.0
貨 物 船	17,309	96.9	8,673,471	95.3
油 送 船	8,991	90.2	4,787,869	89.6
プッシュャーバージ・台船	1,716	85.8	283,429	91.0



凡例： ● 平成30年度（2018年度） ◆ 令和元年度（2019年度） ■ 令和2年度（2020年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111 FAX:03-5253-1567

担当：小林、西岡（内線 28-743）